

7-1 資料の整理と活用

1

階級(kg)	度数(人)
20以上~25未満	1
25 ~ 30	3
30 ~ 35	6
35 ~ 40	4
40 ~ 45	3
45 ~ 50	2
50 ~ 55	1
計	20

(2)5kg (3)30kg以上35kg未満  
(4)3人 (5)4人

解説

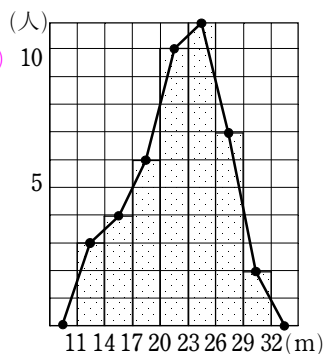
(2)階級の幅...区間の幅

(4)2+1=3

(5)1+3=4

2

(1)23m以上26m未満 (2)43人 (3)10人  
(4)23m以上26m未満



解説

(2)3+4+6+10+11+7+2+=43

(4)26m以上 7+2=9

3

点数(点)	度数(人)	相対度数
0以上~20未満	2	0.04
20 ~ 40	5	0.10
40 ~ 60	15	0.30
60 ~ 80	20	0.40
80 ~ 100	8	0.16
計	50	1

解説

相対度数 =  $\frac{\text{その階級の度数}}{\text{全体の度数}}$

$\frac{2}{50} = 0.04$     $\frac{5}{50} = 0.10$     $\frac{15}{50} = 0.30$     $\frac{20}{50} = 0.40$     $\frac{8}{50} = 0.16$

4

(1)155.75cm  
(2)157.5cm

階級(cm)	階級値(cm)	度数(人)	(階級値)×(度数)
140以上~145未満	142.5	2	285
145 ~ 150	147.5	2	295
150 ~ 155	152.5	4	610
155 ~ 160	157.5	6	945
160 ~ 165	162.5	5	812.5
165 ~ 170	167.5	1	167.5
計		20	3115

解説

(1)階級値...各階級の中央の値

平均値 =  $\frac{\text{(階級値)} \times \text{(度数)の合計}}{\text{度数の合計}}$

$\frac{3115}{20} = 155.75$

(2)最頻値...度数が最も大きい階級の階級値

5

(1)65.5点 (2)69.5点 (3)78点 (4)中央値

解説

(1)  $\frac{75+90+68+56+88+71+12+64}{8} = \frac{524}{8} = 65.5$

(2)中央値...資料を大きさの順に並べたとき、中央にくる値

12、56、64、68、71、75、88、90

$\frac{68+71}{2} = \frac{139}{2} = 69.5$

(3)範囲 = (最大の値) - (最小の値)

90-12=78

(4)Gさんの得点は12点と、他に比べて極端に低い。このような場合、12点はこの資料の平均値に影響を与える。よって、平均値は、代表値としてふさわしくない。

6

(1)① $6.400 \times 10^3\text{m}$    ② $6.40 \times 10^3\text{m}$    ③ $6.4 \times 10^3\text{m}$   
(2)①1gの位   ②10gの位

解説

(1)①有効数字は、6、4、0、0    $6.400 \times 1000 = 6.400 \times 10^3\text{m}$

②有効数字は、6、4、0    $6.40 \times 1000 = 6.40 \times 10^3\text{m}$

③有効数字は、6、4    $6.4 \times 1000 = 6.4 \times 10^3\text{m}$

(2)① $7.30 \times 10^2 = 7.30 \times 100 = 730\text{g}$    有効数字は、7、3、0   よって1gの位

② $7.3 \times 10^2 = 7.3 \times 100 = 730\text{g}$    有効数字は、7、3   よって10gの位

7

(1) $3.55 \leq a < 3.65$    (2)0.05

解説

